

# ひょうご

422

MIN-IREN

2025.3・4  
合併号



メモリアル集会 犠牲者を悼んで黙とう



メモリアルウォーク（ウォールギャラリーにて）



金沢大学 井上名誉教授

阪神・淡路大震災30年  
忘れない、風化させない！  
あのときの想い…

地震は止められないが、震災は止められる

1995年（平成7年）1月17日5時46分  
最大震度7の揺れが兵庫県を襲い6434  
人の方が亡くなったあの震災から30  
年が経ちました。

2025年1月17日（金）午前は「長田メモ  
リアルのつどい～メモリアルウォークと

トーク「30年を語る」、午後は「阪神・淡路  
大震災30年メモリアル集会」が開催され  
兵庫県民医連からも参加しました。

当日は兵庫県民医連2年目研修の45名も  
参加し、震災を知らない若い世代にも震  
災を感じる貴重な機会となりました。



3・4・5面に続く

## 事業所・職場紹介

輝いています！

# みなさんの医療活動を 支える縁の下の力持ち



兵庫県医療事業協同組合 共同購入事業部 管理薬剤師 武政 秀明

こんにちは、兵庫県医療事業協同組合、略して兵医協（ひょういきょう）です。

兵医協には今回紹介させてもらう共同購入事業部の他に、兵庫県内の民医連運動を推進する県連事務局と、病院や介護施設などで提供する給食や職員食、イベントのお弁当を作っているセントラルキッチン事業部があります。いずれの部門も兵庫民医連内の各法人が、事業や運動をより円滑に発展的に促進していけるようにするのが事業協同組合としての任務です。

さて、共同購入事業部では、兵庫民医連内の病院、診療所、薬局などからの医薬品・医療材料（以下、医材）の受発注を中

心に、支払代行や卸との価格交渉を行っています。月間取引平均額は2023年度実績で医薬品が約2億円強、医療材料が約2千万円弱です。

医薬品に関しては、供給不安定に伴う欠品対応が日常的にあり各卸や各メーカーに問い合わせを行い、情報発信しています。大きな役割の1つに保険薬価改定に伴う医薬品の価格交渉と、その到達に応じた医薬品費の圧縮、後発医薬品の選定があります。選定にあたっては、先発医薬品との差異や飲みやすさを考慮し、価格交渉も行っています。

供給不安定な状況の中で、会員法人の皆様へ薬を届けるために日々業務と向き合っています。兵医協は「二次卸」として、取引記録の保管が法律で定められており、一般医薬品伝票とは別に、生物製剤などは原本で長期管理もしています。

医材部門の主な業務は、県連内4病院への医材の支払い代行および医療用ガス販売です。この間、医材の値上げが続いてお



り、毎月複数業者から値上げ通告があり、毎月開催している物流委員会などと合わせて、使用頻度が高く影響額の大きい製品を中心にした価格交渉や、代替可能な製品への切り替え提案など、困難な状況への対応を行っています。

このように共同購入事業部では県内全域で取り扱う医薬品や医材を取りまとめることで、スケールメリットを確保し問い合わせや交渉作業等を集約化による各事業所の負担軽減となるよう日々取り組んでいます。



▲事業所からの問い合わせの対応をしている武政さん

# 震災30年特集

## 年表から紐解く震災復興への道のり

### 被災者による被災者の住宅再建のための運動の出發と発展 ～空港よりも被災者の生活・住宅の再建、個人補償を～



1995年（平成7年）● 阪神・淡路大震災 最大震度7  
 1月17日5時46分 死者：6434人 負傷者：43792人 住宅被害：639686棟  
 避難所ピーク時：1153か所 被災住民：316678人

建物倒壊による多数の死者  
 同時多発の火災が発生  
 私たち兵庫民医連の事業所は「地域の命と生活の砦」となり、職員も命がけだった



▲震災発生直後、病院前にはテントがはられ、けが人の処置を

（行政の姿勢）

個人補償を拒否し、自力再建を押しつけた「自助努力による回復が原則」  
 住民無視の被災都市計画・私企業救済・神戸空港建設推進

1995年3月ごろ ● 阪神淡路震災復興県民会議発足  
 1998年5月 ● 「被災者生活再建支援法」制定  
 阪神・淡路大震災に遡及せず。厳しい要件と低い支給額

2011年3月11日 ● 東日本大震災  
 人の復興におけるキーワードに住宅と生業、原発廃止を

2013年6月 ● 「大規模災害復興法」制定。災害救助法の所管が内閣府に変更

2020年1月 ● 震災25年  
 被災者のローン返済の重圧は続く、2006年に完済のはずの災害援護資金も3600件、52億円が未返済（2019年末）、業者向け緊急災害復旧資金融資は、7100件余が返済不能に陥る  
 神戸市・西宮市などが借り上げ期間（20年間）終了だとして高齢の入居者を退去・転居を迫り、入居者を提訴する暴挙に！

2024年1月1日 ● 能登半島地震。いまだに守られない被災者の人権

病院をとびだして地域へ



▲長田区南部全戸訪問ローラー作戦

### そして2025年1月、未だ残る復興災害

- (1) 無策により放置された問題
  - ・ 借り上げ復興住宅からの強制撤去問題
  - ・ あらたに震災アスベスト問題が出てきている
- (2) 便乗型開発事業の失敗
  - ・ 新長田駅南再開発
  - ・ 神戸空港 ・ 地下鉄海岸線

### 30年の総括

被災者との共同の営みとしての運動なくして人の復興なし

- ・ 「阪神淡路震災復興県民会議」～震災未だ終わらず、人権としての支援法の改善を提案
- ・ 政府、政権党は大災害時に救援・復興をいうが人権思想が基礎にない状況がまだまだある
- ・ 最後の一人が復旧するまで被災者に傾聴、寄り添い、過去の運動で勝ち得た成果を十分に活用し、被災者の現状・調査事実に基づき世界標準で運動することが重要！

今後は、  
 日常的な防災の  
 取り組みと経験の  
 蓄積が必要

事業所の窓から～震災30年特集～  
兵庫県医療事業協同組合

# 長田のまちをあるく

# 19

## 焼け野原からの復興 ～生活できてこそそのまちおこし～

2025年2月4日、震災で大きな被害を受けた神戸市長田区のまちを歩きました。

### くつのまちながた

(シューズプラザ前のハイヒール)  
くつのまちのシンボルとなる拠点施設



### 鉄人28号モニュメント

神戸出身で長田にゆかりの深い漫画家の横山光輝(よこやまみつてる)さんの作品で2009年に完成。当日は工事中でした。その他横山さんの作品にちなんで三国志などの像も長田の町のあちこちに見られます。



### 丸五市場



奇跡的に火災による倒壊を免れた市場。市場の中に貼ってあった『神戸いちば PROUD』のポスターの「すべてが均質化されていく、味気ない時代の中で、かけがえのない個性を持った小売市場は、この国の希望だ。無くしてはいけない。遺産になるにはまだ早い」という言葉に心打たれました。

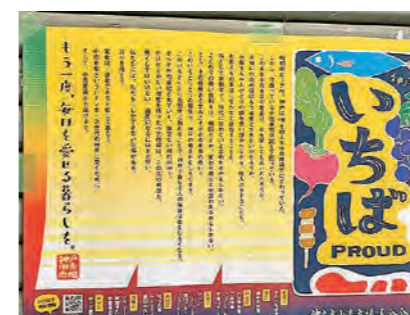


### ウォールギャラリー

震災当時 燃えさかる町の一角で火災をくい止め、たくさんのいのちを救った若松市場のコンクリート防火壁の一部が展示されています。その他震災当時の記録写真も多く展示されています。



▲震災30年のTHANKSボードが！



### メモリアルウォークでも拠点となった「お茶の味萬」

つどいで震災の経験を語られた伊東正和さん(震災で甚大な被害を受けた大正筋商店街の元理事長)が店主。



インタビューはこちら

震災30年のこの節目に  
みなさんも一度、ぜひ長田のまちを訪れてみて下さい。

(県連事務局 福岡・白石)

### できないことではなく できることを考える



お茶の味萬 店主  
伊東正和さん

伊東さんは30年以上前から大正筋商店街でお茶屋さん(味萬)を営んでおられましたが、阪神・淡路大震災でお店を火事で焼失、お店が元の状態に戻るまでに10年の歳月を要しました。お店が再建してからの20年は、「生活できてこそその町おこし」お正月と墓参り以外362日毎日店を開けて、商店街の復興に奮闘してこられました。どうやったら町おこしができるか? 「できないではなく、できることを考える」ことをモットーに、行政にも働きかけてきました。また、震災に関する講演も精力的にされています。

お店を訪れると、一輪のお花と一服のお茶でもてなししていただきました。「笑顔になって帰ってもらう、また町に来てもらう。それは病院も一緒」と伊東さんは言われます。「ホスピタリティとは疲れた人が元気になって、また戻っていくところ。だから、病院は病気を治すだけでなく人生に寄り添うことが大事。そのためには、もっと地域の人の声に耳を傾けないといけない」と、厳しいお言葉もいただきました。

震災が起こらないのが一番ですが、起こってしまった後に前を向いて生きていくヒントを伊東さんからいただきました。ぜひ長田にお越しの際は、伊東さんのお店で一服してってください。





# 介護老人保健施設の制度から見える生存権 ～患者様ひとり一人が満足し 納得できる制度になるために～

兵庫民医連 看護委員会

介護老人保健施設では医師や看護師が常駐していることから、介護保険優先の包括報酬制度となっており、医療保険での検査や治療に制限があります。実際100名定員に対し医師1名以上、看護師の夜勤配置は定数1名以上となっており、当施設では入所者95名に対し夜勤帯は看護師1名、介護士3名の計4名の最低人員で対応し、それができなければ赤字が出ない仕組みとなっています。

老健では包括報酬のため、検査費用や薬剤費など実質10割を施設が負担する仕組みとなっており、なるべく持ち出しを少なくするために医療的に安定した方の受け入れをしている施設がほとんどです。国が認めた検査の医療保険が適応される仕組みですが、画像診断や緩和の麻薬など細かな縛りがあるため、他科受診ひとつとってもご家族様に理解して頂くのにとっても苦労します。肺炎や尿路感染、蜂窩織炎などの所定疾患では介護保険での加算がつくため、なるべく老健で治療をしていきますが、高齢者は複数の基礎疾患をもっているため、多岐にわたる検査や治療が必要で、介護保険からの報酬では全て賄えてないのが現状です。

近年は認知症やパーキンソン病、糖尿病などの治療に貼用薬など高薬価で有効性の高いものもありますが、薬価縛りのある老健に入所することで安価な薬に切り替えざるを得なかったり、心不全や脳卒中など副作用の少ない安全な薬ほど高薬価のため、入所判定会のハードルを上げてしまったりと医療従事者からみ

ても非常に矛盾を感じる制度になっています。

リハビリが継続的に必要な進行性難病の患者様が薬価や定期受診を気にせずに、老健を利用できるような制度になって欲しいと切に願います。

当施設は3年前より超強化型老健を算定しています。3か月の短期集中リハビリ期間を終了すると週5～6回できていたリハビリが半分に減ってしまう仕組みなので、病院からリハビリ目的で来られた利用者様も3か月を目途に、在宅もしくは他の施設など次の方向性を探らなければなりません。

近年、病院の回復期リハ、地域包括ケア病棟も診療報酬改定で在院日数など厳しく評価される中、患者自身の生活やQOLに見合った診療報酬・介護報酬改定になっているのかは疑問です。利用者個々によりリハビリの伸びしろのタイミングは異なります。期限に縛られている病院は稼働率も上げないといけなないので、リハビリがまだ必要であってもリハビリ時間や回数が減ってしまう老健に出さないといけなのが現状かと思います。そして看護師も療養上の世話をしながら自立支援をし、回復していく姿をみるといった看護師のやりがいと達成感が今の急性期病院ではなかなか難しいのだろうと感じています。

患者ひとり一人が満足し納得できる療養や生活が出来るような制度になるよう、私たちはあきらめずに声を上げていかなければならないと思います。

### 医師臨床研修の募集定員2名以上配置を求める署名 へのご協力ありがとうございます！

昨年12月より取り組んできました署名は、各法人で共同組織の方も含め大きく広げていただき、目標である1万筆を超えて集まっています。3月中には斎藤元彦兵庫県知事に提出をし、私たちの声を直接届けたいと思います。大病院を優先し、研修医の定員配分0名の病院を7つもつくった兵庫県の対応は『臨床研修の基本理念』（厚労省）に反するものです。この間、署名とともに「研修医の選択肢をなくすな」「地域に根差した中小病院でこそ、患者さんに寄り添った医療を行う医師としての力をつけることができる」という声も皆さんから寄せられています。すべて県知事に届けます。引き続きご支援よろしくお祈りします。

※現在手元にお持ちの署名用紙・ハガキがありましたら、3月7日までに兵庫民医連事務局・福島までお送りください。



### 読者の声

●2025年1・2月合併号表紙に我がヘルパーステーションの所長が明るい笑顔で写っていてとてもうれしかったです。私も誕生日を迎え一歳年を重ねましたが、とりあえず1年は頑張ります。下の孫が今春高校受験です。

宝塚ヘルパーステーションひだまり 有助辰恵

●2025年巳年。理事長のあいさつで再生と誕生、そして結実の年ともいわれているそうです。リハビリの職員がつくった「尼崎たいそう」があります。YouTube登録者がなかなか増えません涙、待合でも流していますが、みなさんもぜひ一度見てくださいね。

尼崎医療生協病院 安田尚美

●シリーズの生存権をいつも楽しみにしています。問題の解決だけではなく、その問題の社会的な背景も捉えており、いち医療者としてタメになっています。

ペンネーム かびごん

●あまの里の記事懐しく読ませて頂きました。お店のようなおやつバイキング！これからも利用者様の笑顔が増えるような取り組みを続けて下さい。

ペンネーム ゆず

●高齢者の域に達して、腰痛に悩まされています。歩くのが速いほうだったのですが、トボトボになってゆきそう…高齢者福祉の事業所が沢山できているのは心強い限りです。

神戸医薬研究所OB 村川美和子

●今年もあっという間でした。利用者の皆さんにもっともっと早なるよーっと言われ、どうなることやら！おそろしやー。

ペンネーム ちこ

●近い将来人生100年時代が到来すると言われていますが、現在女性の平均寿命は87歳、健康寿命は75歳だそうです。私は今年71歳になります。運動5年間毎日継続中〇（体力）・食生活は好き嫌いありで△（栄養・口のはたらき）・社会参加は内向的で苦手△と評価してみました。決して長生きしたいと思っていないですが、せめて健康寿命はクリアできるようにがんばります！

姫路ヘルパーステーションあぼし 栗林由季

## まちがいさがし 3・4月

正解者のうち5名の方に図書カードを差し上げます。

まちがいは8つ



作・小田 求



### 【応募のきまり】

〈締切〉2025年4月9日（水）◇当選者は2025年5・6月号に掲載。

〈応募〉1人1通。はがき又はEメールで。

氏名（投稿はペンネームでも可）、院所名（職場・職種）、OBの方は在職時の法人名を記入の上、下記へ送付して下さい。

〒650-0047 神戸市中央区港島南町5丁目3-7  
兵庫民医連ニュース「クイズ」係

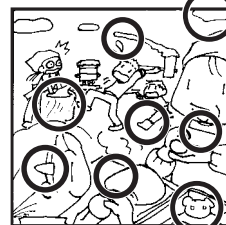
〈Eメール〉kikansi@hyogo-min.com

※余白に、①興味深かった記事と感想、②事業所での取り組み紹介、③近況、④ニュースへのご意見等、お書き下さい。

1・2月号の応募者は11名で全員正解でした。右記の5名の方に図書カードを進呈。

- ①ち こ（ペンネーム）
- ②栗林 由季（ヘルパーステーションあぼし）
- ③有助 辰恵（ヘルパーステーションひだまり）
- ④かびごん（ペンネーム）
- ⑤富士 初美（姫路医療生協理事）

1・2月号の答え



# 法人 topics

## 神戸医療生活協同組合

連載コーナーです。

法人で“キラッと輝く”職員の、民医連で働き続ける理由や、こだわりを紹介します。

神戸協同病院

植中 彩さん

看護師



### 入職したきっかけ

母が協同病院で急性大動脈解離の診断を受け、急な事でパニックになる私を背中をさすりながら励ましてくれたのが協同病院の外来看護師さんでした。同じように患者さんやご家族に寄り添える看護師になりたいと、看護師を目指すようになりました。看護師を目指すきっかけになったことと、子どもがいるため自宅から近いということもあり協同病院への入職を決めました。

### 仕事でのこだわり

患者さんがもし自分の家族だったら？患者さんも誰かの大切な人という気持ちで患者さんと関わらせていただいています。民医連の「いのちの平等」という考えに賛同していますし、人種や貧富の差でいのちに優劣をつけてはいけないと思います。協同病院にも色々な事情を抱えた患者さんが来られますが、どんな方にも同じように医療を提供し、込み入った事情のある方でも最後まで見捨てないという考えは私も持ち続けなければいけないと思います。



### プライベート

家族で「桃太郎電鉄」というゲームをしています。子どもたちは高校生と中学生なので部活や遊びなど自分たちの時間も忙しく、なかなか家族で出掛ける機会も減りましたが、夜に時間が合うときには家族の時間を過ごしています。

## 神戸医療生活協同組合 おいしく食べて 元気に長生き

協同歯科 歯科医師 柴田 麻紀

年齢を重ねると、徐々に噛む力や飲み込む力、舌を動かす力が低下することがあります。このようなお口の機能が低下することをオーラルフレイルの状態、

「口腔機能低下症」といいます。この口腔機能低下症は、全身の健康にも影響を及ぼします。年齢とともに生じる機能の低下は誰にでもあります。自分自身でお口周りのどのような機能が弱くなってきているのか知るための検査を、協同歯科では始めました。7項目にわたる問診や検査をおこない、検査結果が3項目以上基準値より低ければ、「口腔機能低下症」と診断されます。お口の機能が検査機器により数値化されますので、患者様も興味津々です。各検査項目で基準に満たなかった機能を改善するためにスタッフがトレーニ

ングを提案します。トレーニングは毎日コツコツ続けてこそ結果に結びつくので、毎日の生活の中で無理なく継続できるように患者様とスタッフが一緒に考え、実践につなげていく必要があります。まさしく患者様との二人三脚です。地域の中でもドンドン紹介して「オーラルフレイル」を予防し、「おいしく食べて元気に長生き」を目指していきたいと思っています。



口腔乾燥の検査



噛む力の検査